

## 日本では珍しい部活

アメリカの中学校や高校で、どこにでもある部活のひとつに「スピーチとディベート部」（略：スピーチ部）があります。私は、高校4年生（日本の高校3年生）の時にスピーチ部に入りました。



あがり症の私がなぜこんな部活に入ったのかとよく聞かれたのですが、その理由は二つあります。

アメリカ国内スピーチとディベート協会の  
公式ロゴ

第一の理由は、あがり症でも話しやすい規模の部活だったからです。

スピーチ部と聞くと、広い会場のステージの上で一度に多くの人に見られながら話すイメージがありませんか？

アメリカでは違います。アメリカ全国のスピーチ部のルールとして、「学校の教室で5～6人の規模」ということが決められていました。毎週末のように「トーナメント」もありましたが、その時も、発表者と審査員が数名ずつ各教室に分かれるスタイルであり、大勢の前ではなかったので話しやすかったです。

第二の理由は、スピーチ部の友達が楽しそうだったからです。

高校1年生の時から入っていた友達の楽しい話に釣られて、私もやってみたいと思いました。色々なカテゴリー（コメディ、ドラマ、ディベートなど）がありましたが、私は「即興スピーチ」を選びました。

そういった考えで入ってみましたが、大正解でした！

友達が言うように「入ると面白い」のは間違いありません。卒業まで1年しかなかった私でも、一度だけトロフィーをもらいました（壊しちゃったけど…）。

今も、人前で話すことへの不安はありますが、学生時代に即興スピーチを何回も練習した結果、自信ができました。ですので、日本でもこういう部活があったらいいなと思います。

皆さんなら、こんな部活やってみたいですか？



私がトーナメントで6位で優勝した後の写真です。よくよく見ると、私がドジってて、トロフィーを壊したことも見えます。